

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・団体客の予約が秋まで埋まってきているようなので、引き続き期待している。
		コンビニ（経営者）	・店が国道に近く、観光客の来店が見込めるため、先行きは良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・これから夏祭り、秋祭りが各地で盛んに行われるため、景気が良くなるというより、季節的な売上増になる見通しである。個人注文は通信販売等の利用が多いようだが、地域や組織からの注文は、インターネットでは済ませられないため、客と対話しながら受注するというのが現状であり、今後もそれが続いていく。
やや良くなる		コンビニ（経営者）	・春先の駐車場拡張の効果が現れ、前年比2%ほどの来客増を見込んでいる。
		コンビニ（店長）	・梅雨明けが遅れたせいか、月半ば以降の低温の影響か、例年の来客数をかなり下回っている。紅葉の季節には回復することを期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・量販車種のフルモデルチェンジが予定されている。
		乗用車販売店（統括）	・新型車の発売により、来店増が見込まれる。
		自動車備品販売店（経営者）	・消費税などの不確定な不安要素が今はないので、客の考え方も安定してきており、計画的に物を買う動きが感じられる。
		住関連専門店（仕入担当）	・7月末になりようやく梅雨が明けたので、季節商材の販売が8月に多少ずれ込み、プラス要因になる。
		一般レストラン（経営者）	・10月に地元の祭りがある。
		スナック（経営者）	・フリーの客の動きが日増しに良くなってきている。着実に景気が良くなって来ていると実感することが多くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会利用の客、件数、売上共に前年と比べても9月まで順調に伸びている。宿泊客の伸びが弱いのが懸念材料である。
		旅行代理店（所長）	・今月は予想外に良くないので、期待も込めて、先行きは良くなる。
		通信会社（経営者）	・求人を行ってもなかなか応募がないので、景気は緩やかに回復している。
		観光名所（職員）	・お土産は箱菓子のような食品類より、多少高くても自分用の実用的なものが売れるようになってきた。食事もこだわりとストーリー性のあるものがよく売れている。売れるための工夫が必要である。
		ゴルフ場（総務部長）	・2～3か月後の9～10月にかけてはトップシーズンであり、予約も回復している。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・葬儀の内容が口コミなどで広がり始め、依頼や問い合わせ、見学が増えている。
		変わらない	
一般小売店〔家電〕（経営者）	・残暑にからむ商品の売上増を見込みたいが、見込みで商品を購入する客はない。先行き不透明な状況に慣れ、家計に余裕を見い出せないなか購買意欲を刺激し購入に結び付ける施策が見当たらない。先行きは現状維持で、変わらない。		
一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要因がない。		
一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏物は良かったが、これから秋口にかけては、また逆戻りするのではないかと心配である。良くなる要素はあまり見つかからない。		
百貨店（営業担当）	・過去の夏季オリンピックに比べ、リオデジャネイロオリンピックの事前訴求が少なく、盛り上がり欠けており、商機に結び付いていない。今後の天候次第では売上が大きく左右される衣料品も、トレンド感が乏しい。今後2～3か月先も状況は変わらない。		
百貨店（販売促進担当）	・英国のEU離脱問題に伴うリスクオフムードが後退したことにより株価は回復基調にあるが、依然として先行き不透明な状況には変わりがない。高所得者の購買意欲も依然として低いままである。		
百貨店（店長）	・政府の経済対策等で一時的に持ち直すことはあっても、基本的には慎重な消費行動は変わらない。		
百貨店（店長）	・客の動向に動きがあまりない。		

スーパー（総務担当）	・今後売上が伸びてくるとは思えないが、今月の売上が厳しいのは、梅雨明けが遅れていることもあるため、今が景気の底だと思う。
スーパー（商品部担当）	・ここ数か月の動向を見ると、外的要因も大きな変化はないため、現状維持ができれば良い。
コンビニ（経営者）	・7月末は土用の丑の日などイベントがあるため、売上がいくらか上がるが、8月の旧盆は会社関係が休みになり、客が来なくなるので、売上が下がる。9月に会社が始まって、売上は急には伸びない。
コンビニ（店長）	・景気はあまり良くないようだが、周辺で工事などが始まり、大きなマイナス分を補うような形になっているので、変わらない。
家電量販店（店長）	・リオデジャネイロオリンピック関連特需が来ないまま終わりそうである。4K、8Kの映像革新を早期に決めて、地上デジタルの時のような特需を狙ってほしい。
家電量販店（営業担当）	・今月前半はエアコンが好調で前年比150%で推移していたが、中旬以降は天候の影響もあり苦戦している。リオデジャネイロオリンピック特需もなく、厳しい状況である。
乗用車販売店（経営者）	・大手自動車メーカーの燃費偽装問題もあり、軽自動車の販売は落ち込んでいる。景気刺激のための強力な経済対策でもなければ、販売は向上かない。
乗用車販売店（販売担当）	・良くなる要素も、悪くなる要素もなく、今が最低だと思う。販売量は前年と変わらないが、新型車が出る予定もなく、この先も変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・県内主要温泉旅館などとも取引しているが、大型格安旅館が1軒閉鎖してしまった。観光客の入込も少しずつ良くなってきているし、今後夏休みに入ると多少良くなると思うが、そんなに爆発的に景気が良くなるという要素もないので、このまま変わらない状態で推移していくのではないかと。
住関連専門店（経営者）	・英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙後に起こると想定される日本への影響、中国の景気減退、ロシアの経済状況等、日本を取り巻く世界の報道はいずれも消費マインドが冷えるものばかりで、景気拡大を伴うような材料がない。
住関連専門店（店長）	・良くなる材料も悪くなる材料もない。
一般レストラン（経営者）	・しばらくこの状態が続くが、仕入原価の高騰傾向が不安材料である。
一般レストラン（経営者）	・地方の中小企業は、なかなか給与のベースアップができない状態なので、それに伴い消費者もなかなかお金を使えない、使わない状況にあり、まだまだ厳しい。
一般レストラン（経営者）	・景気が悪くなる要素も、良くなる要素も感じられない。新作スマートフォン向けゲームの影響が出てくるのか、配信開始から間もないので不透明であるが、ゲーム目的の来場者は増加している。
都市型ホテル（スタッフ）	・3か月先も決して良くなるとは思えない。やはり停滞気味ではないか。
都市型ホテル（営業担当）	・極端に悪くなる要素も見当たらないが、良くなる要素も見当たらない。
都市型ホテル（副支配人）	・8月以降の予約状況から判断するに、しばらくは今のようなくもなく不可もなくといった状況が続くのではないかと。
旅行代理店（従業員）	・世界情勢が不安定なため、先行きは変わらない。
タクシー運転手	・地方ではかなりの落ち込みが続いている。
タクシー運転手	・前年12月以降、前年比100%を達成した月は一度もない。今月はやや良い状態だが、100%は難しそうである。市内の同業者も同様である。
タクシー（役員）	・乗降客の様子から先行きも変わらない。
通信会社（経営者）	・リオデジャネイロオリンピックがあるが、あまり盛り上がりせず、客の関心は薄い。
遊園地（職員）	・世界情勢の影響を受けたインバウンド客の動向が気になるが、夏休みは繁忙期なので今月と比べ盛況となる。
ゴルフ場（支配人）	・月ごとにクラブ主催のイベントコンペを開催し、ダイレクトメール、インターネットを通じ、集客を図っている。これからの2か月は暑さも厳しいので、涼しさを求めて客が増える。
美容室（経営者）	・梅雨も明け、気温も上昇するため、カットの客が増えると予想している。夏が過ぎると来客数が減少してくるので、単価を上げる方向に持って行きたいが、なかなか難しい。
その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・低値安定で、このまま慢性化傾向が続く。
その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・今年は秋まで式年祭があるため。

	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・今後の予約数は前月比、前年度比共に依然として横ばいである。政府の経済政策に伴って回復してくるのを期待しているが、相対的には変わらない。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・国内外共に不安定要素があり、状況は変わらない。
	設計事務所（経営者）	・仕事量が少なく、足りていない。
	設計事務所（所長）	・上半期は予算クリアできそうではあるが、貯金がないので、今後少しでも維持できるよう努力したい。
	設計事務所（所長）	・建築設計業界の現状は、ほとんどがコンサルタントと比べてよく、それが昔からの客だと、仕事としてお金を頂くことにならない。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘所有者の高齢化が進んでおり、空き別荘が増加する傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	・東京オリンピックの影響で、東京など人気エリアの地価は上昇傾向にあるが、地方はまだ不景気感が強い。デフレも解消されていないと思う人が多いなか、地価が上昇する要因には乏しいため、先行きは変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今は値の張る品は全く動かず、購買意欲も見えてきていない。駅から100メートルほどしか離れていない地区だが、空き店舗が出て、次がなかなか入らない。
	商店街（代表者）	・最近、商店街を歩く人が大変少なくなっている。消費にかなり慎重な様子が見え始めるが、最近の暑さが拍車をかけるようであれば、更に悪くなる。
	商店街（代表者）	・例年のことだが、お盆過ぎ、秋口のスポーツシーズンには既にスポーツ用品の購買は終わっているため、先行きは悪くなる。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当商店街では、夏祭り行事として8月末に抽選会を予定しているが、回覧や新聞紙上で案内を流しても、なかなか客が買物に来ない。観光客も、外国人は来ているが、なかなか買ってはくれず、大変である。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・良くなる要素が見当たらず、現状が進んでいくとすれば、やや悪くなっていく。
	百貨店（営業担当）	・先行きも景気が良くなるような空気ではない。円高の傾向も一進一退、株も上がらないという状況のため、消費にはなかなか回ってこない。
	スーパー（経営者）	・消費者の購買意欲が低下している。
	スーパー（統括）	・世界各地でのテロ発生、トルコの政変、英国のEU離脱問題、アメリカ大統領選の不透明感等々のネガティブな報道に伴う急激な株安、円高で、先行き不安がより鮮明になり、消費マインドの下降による来客数、買上点数の減少は続く。
	コンビニ（経営者）	・8月を過ぎると、秋口は全体的に売上が落ちるという従来のパターンからいって、見通しは良くない。
	コンビニ（経営者）	・コンビニや外食産業は7～8月の夏休み等が上向くピークなので、先行きはやや悪くなる。
	衣料品専門店（販売担当）	・例年8月は、季節商材を扱う当店のような業態にとっては大変厳しい月である。この猛暑が残暑になっても長引くようであれば、かなり厳しい状況で推移すると予想している。秋物をいつ立ち上げられるかという心配を抱え、早く秋が来てくれることを願うばかりである。
	乗用車販売店（経営者）	・自動車産業の企業城下町である当地域では、1次下請企業の設備投資が完了しつつあるためか、製造部品の内製化が進み、3次以下の下請企業では仕事量も単価も落ちて、その上高齢化、後継者不足で経営が苦しい。また、先般行われた当地域の夏祭りも、確実に人出が少なくなっている。
	乗用車販売店（営業担当）	・新車が思うように売れないなか、中古車市場も割高な車が多く、厳しい状況が続く。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・前年比でも減少傾向が続いており、先行きも使用量が増える要因がない。
	スナック（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。これからお盆に入るため、余計な出費も出るのではないかと心配している。
	観光型旅館（経営者）	・前年はふるさと旅行券のお陰で旅館業界全体がバブルであった。今年はそのような対策もないので、現状よりも悪化する。
旅行代理店（副支店長）	・円高、株安などの不安材料が多く、先行き不安から旅行も海外出張も減少気味である。夏休みや9月に向けての受注が少なく、秋の行楽シーズンが懸念される。輸出製造業の企業等も、採算の悪化やテロによる渡航自粛が開始されており、企業の出張も減少している。秋の景気回復を期待する。	
タクシー（経営者）	・5～7月は全体的に動きが悪く、この先も悪い。	

		通信会社（経営者）	・デフレマインドは相変わらずで、できる限り消費を抑えるという消費者心理に変化はない。加えて、中長期的には人口減の問題もあり、先行きは暗い。
		テーマパーク（職員）	・夏らしい天候にならないと、来園者数も売上も伸びない。
		競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪の売上が徐々に減少してきている。
	悪くなる	スーパー（副店長）	・行楽地のため、夏の繁忙期が終わる2～3か月先は落ち着いた時期になっている。前年比では、今までの動きから概ね横ばいか少し悪くなると予想している。
		通信会社（経営者）	・例年、夏季は販売量が下降し続ける。どうにか持ちこたえたい。
		通信会社（店長）	・業界に見切りをつけた退職が止まらず、補充も間に合っていない。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの北米輸出が増加している。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・太陽光発電事業は順調に進み、自社発電所が現在6か所で4メガになり、これから安定収入となる。
(北関東)	やや良くなる	食料品製造業（製造担当）	・原材料の単価が若干下がってきているので、販売量が減少しなければ、数字は改善されてくるはずである。
		化学工業（経営者）	・8月は落ち込む月だが、例年になく一部の受注量が伸びており、これが1～2か月は続くと思われるので、期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・新しい経済対策に期待している。
		金属製品製造業（経営者）	・短納期の受注が増えている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・スポットではあるが何点か受注が決まっているため、現状より多少上向き。ただし継続は見込めず、先行き不透明な状況は続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・見積りや引き合いが徐々に増えてきている。また、既存の仕事も少しだが増えてきており、最悪期は脱したように思う。
		広告代理店（営業担当）	・秋から冬は広告出稿が増える時期なので、順当にいけば悪くはならない。
		経営コンサルタント	・長い梅雨が明け、これから本格的な季節需要が刺激され、消費関連やこれにつながる食品、生活用品、レジャー用品等の販売業が動き出す。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・上期末に向け、小規模の情報化投資が増えてきている。期末における一過性のものであるが、収益の増加が見込める。
	変わらない	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量の横ばい状況が続き、なかなか好転の兆しが見えない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・2～3か月先の景気は全く分からないが、とりあえずこの2～3か月はまずまずの状況なので、この先もそんなに悪くはならず、良い方向で推移する。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・8月は更に厳しさが増す予想だが、9月以降は、9月始めと10月に卸向けの大きなジュエリーフェアが開催される。どちらの展示会も中国人バイヤーに向けて積極的なプロモーションを行っている。6月の香港での展示会で中国人バイヤー相手の商売は不振であったが、その後の海外バイヤーの動向を知る大きな機会でもある。国内市場での秋冬向けの仕入にも期待する。
		その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
		建設業（開発担当）	・公共工事は現政権のもと3年間順調に推移している。今期は発注額が前年比83%、当社受注も前年比85%と厳しい。政府が28兆円規模の大きな経済対策を打ち出したので、今後期待したい。
		建設業（総務担当）	・第2四半期で公共の発注は増えると思うが、民間の動きが弱い。補正予算に非常に期待している。
		金融業（経営企画担当）	・経営者の高齢化が進んでおり、後継者のいる事業者は前期並みの受注を確保しているが、後継者のいない事業者は受注が減少傾向で、全体的には景気は横ばいである。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・良くなる要素も、悪くなる要素も見つからない。
		司法書士	・8月は夏休みで多くの人が休むため、横ばいと予測している。
		社会保険労務士	・海外の波乱要因で、海外で稼いでいる大手企業の下請の中小企業にまで影響が出てくるようだと言われている。
	やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末商品受注は見込めるものの、夏場は受注の谷間にもなり近々の予想が見えない。夏休みの体験イベントの告知もしているが反応がなく、とても厳しい状態である。

		一般機械器具製造業（経営者） 輸送業（営業担当） 通信業（経営者） 金融業（調査担当） 不動産業（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2～3か月後は受注が多少減少するという情報が入っている。 ・ 猛暑となる予測だが、いまだに梅雨も明けず、天候不順が続いているため、夏物商材のエアコン、扇風機、飲料水等の輸送量が確保できるか心配である。 ・ 仕事量が少ない。 ・ 当行の業況アンケート調査の見通しでは、4～6月期から景況感の更なる悪化を予想する企業が増えている。不安定な海外経済や為替の急変動など先行きの不透明感が増しており、慎重な見方をする企業が増加している。 ・ 若い客層のうち、収入の不安定な人が増えてきているようである。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者） 電気機械器具製造業（経営者） 不動産業（管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月のことだが、資金繰りが大変である。 ・ 前月と同様の状況である。 ・ 新築の建物管理受託もあったものの、既存取引先の管理コスト見直しのお話を度々耳にするようになってきているので、減収が見込まれる。
雇用 関連 (北関東)	良くなる やや良くなる	人材派遣会社（経営者） 人材派遣会社（管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共事業や住宅、建築等は平均的に横ばいで、衣料や生鮮食料品なども、需給はほぼ横ばいと思われる。生産関係は、来月お盆に入ると一部休みも予想される。電子関係は、新作スマートフォン向けゲームの影響で、携帯電話やスマートフォンの機種変更等の動きが出てくる。 ・ 携帯電話のリペア等で検査業務派遣の増員を予測している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今のところ宿泊施設関係の稼働は、前年同月比で見ると落ちているが、前年と同じくらいの稼働になる見通しである。年間契約ではなく1回ごとにお金をもらうような仕事もあるが、そちらも前年と変わらない見通しである。
		人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費意欲が湧く材料が何もない。
		人材派遣会社（支社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者の動きは鈍く、稼働スタッフが動くことも少ない。動くにしても事情が絡むので汎用性はなく、マッチングするケースが少ないため、どうしても先付けオーダーを受注し、求職者の選択肢を広げるようなラインナップを完成させなくてはならない状態が続いている。必然的に当月での成果には結び付きにくい。
		求人情報誌製作会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景気が低迷したままなので、雇用も先行き不安定な状況が続く。
		職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務量の減少で事業所を閉鎖するケースがやや増加しているため、求人が増加傾向といっても景気が良くなると楽観できない状況である。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人数は増加傾向を示しているが、円高や中国経済の影響など不安要素も多くあることから、変わらない。 ・ 人手不足感が強い産業においては、依然として人手不足が解消できず充足がなされないということで、求職数が減っている。良くなる要素があまり見つからない。好調な産業においても、人手不足感が深刻で人が集まらない状況で、企業のほうでも求人を手控えてくる動きがあるかと思う。
		悪くなる	-